

津久井中央ロータリークラブ



事務所・例会場

相模原市緑区中野 1029 津久井商工会館 2F

TEL 042-780-0201 FAX 042-850-4830

例会日 毎週木曜日 時間 12:30~13:30

会長 前沢弘之 幹事 井上 旭



第 1165 回 平成 30 年 11 月 29 日(木曜日)《16》

司会 杉本信一 SAA 会長 前沢弘之 会長 齊唱 それでこそロータリー

会長挨拶 前沢弘之 会長

11月も終わりですね。毎年この月はイベントやら(研修?)旅行やらが目白押しで、そんなことをしているうちに、あっという間に師走に入るという具合で、皆さん、何かとお疲れの毎日ではないかと思えます。当クラブでも、先週の日曜(11月18日)に、社会奉仕活動として津久井湖観光センター祭に参加し、チャリティーバザーとポリオ募金活動を行ないましたし、21日には、モンゴルから来日中の元米山奨学生、バト君の歓迎会を具さんの店で盛大に行いました。バザーとポリオ募金については、社会奉仕委員会から別途報告していただきますが、橋本クラブから3名、大野クラブから1名の応援をいただき、大変ありがたいことでした。いつもながら、当クラブメンバーの優れた販売力がいかんなく発揮されて、佐藤さんのネクタイも売れましたね。池田さんが募金に目覚めたのも、大きな収穫でした。

さて、前回、ご飯を一度も炊いたことがないというふざけた立場で「家事(Housework)」についてなんぞという、何の説得力もない話をしてしまい、私、大いに反省致しました。それで一念発起しまして、先日、丸一日を費やし、(この)「食品衛生責任者」という資格を取得して参りました。

公衆衛生学、衛生法規、食品衛生学の3科目(食中毒に関する講義が中心)を、合計6時間かけて聴講すると、この資格をもらえます。これでもう

万全です。

…冗談はともかく、ロータリーは「疾病との闘い」と「水と衛生」を重点活動として掲げており、来月は「疾病予防と治療月間」です。ポリオ募金活動も行ったばかりですので、今日は、食品衛生責任者として身に付けた生半可な知識をもとに、感染症や衛生のことについて、少しお話してみます。

改めて(以前、佐藤さんの卓話で聞いたような気がします)、すっかり忘れてしまいましたので)ポリオについてですが、ポリオは、急性灰白髄炎「Poliomyelitis(ポリオマイアライティス)」の省略形で、日本では「小児麻痺」と呼ばれていた病気です。ポリオウイルスによる感染症で、感染者のおよそ1%が麻痺性の疾患を発症します。神経細胞が破壊されると、特に足に永続的な麻痺が残り、根本治療は不可能とされています。ポリオウイルスの宿主(寄生相手)は、ヒトのみで、つまり人から人へ、排泄物や接触を通じて感染する(うつる)病です。重要なことは、1人麻痺患者が出るということは、(発症率から言っても)その周囲に100人ものウイルスを保有し排泄している人がいる、だから流行するということです。わが国でも、数十年前までは、ポリオの流行があり、子どもの頃を思い起こせば、私の周りにも、小児マヒと呼ばれる、足を悪くした子が何人かいました。特に1960年には患者が6,000人を超える大流行があり、なんとかしなくてはということ

【出席報告者 田畑和久委員長】

現在会員数	出席対象数	本会出席数	本会欠席数	本会出席率	前回修正出席率	前々回修正出席率
16	15	12	3	80.00%	75.00%	86.67%
本日欠席者	山崎会員、高橋会員、具会員					

で、翌 1961 年、ワクチンの国内一斉投与が行われました。この「集団予防接種」によって、わが国におけるポリオの発生は激減していき、1980 年を最後に、国内での野生型ポリオウイルスによる発症例はありません（但し、ワクチン由来の発症例があるそうです。経口生ワクチン-opv-の場合は、生きたウイルスそのものを体に入れるので、数百万回に 1 回程度、発症してしまうのだそうです。不活性化ワクチン-ipv-の場合はそれが無いのですが、ただ、効果の面と注射によるという難点があるようです）。

1988 年、WHO は 2000 年までにポリオを根絶することを宣言し、その後、多くの人々の力で、世界中でワクチン接種が行われ、ポリオは激減しました。ご承知のとおり、ポリオの常在国はあと 3 か国（ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン）。1988 年に世界で年間 35 万もあった症例が、現在は年間数十件、あと一息というところまで来ているわけです。

さて、そこでロータリーの「エンド・ポリオ」というキャンペーンですが、これは（おそらく）、ポリオという病はワクチン投与で撲滅できるんだという理解を広める、そして寄付で理解を深めてもらう、胸に刻んでもらうということであって、決して売名行為みたいなものではありません。ポリオに限らず天然痘、結核、風疹やインフルエンザといった「感染症」には、ワクチンが絶大な威力を発揮するのですが、人から人へ感染する（うつる）わけですから、予防接種は、広域的に、集団的に行う必要があるのです。全国一斉というのが一番良いわけです（佐藤さんと具さんがインドで行ったのは、ポリオワクチン全国一斉投与日「NIDs」の投与作業ですね？）。そこにいる人全員に免疫が形成されれば、病原体は宿主を失って、存在できなくなるというわけです。だから、大々的にやる必要がある。キャンペーンを張って啓蒙し周知して、接種しない人がないという状態を作る必要があるわけです。自分にうつるのを防ぐというより、他人に、子供や高齢者にうつさないようにするという意識が大事なのですね。（もっとも、「病原体」も地球環境を構成している一員であり、ウイルスも生命の発生や進化に深くかかわっているようですから、何かが「根絶」されてしまうと果たしてどういうことになるのかという疑念を、実は捨て切れないのですが…。）

翻って公衆衛生というのも、ポイントは、みんなに周知して、みんなが理解して、みんなでするということです。衛生状態が悪いことによってコレラや赤痢や、食中毒といった病気になる人がい

る。不快な思いをする人がいる。衛生状態というのは、我々の集団的な生活環境の状態のことです。だから病気を防ぎ、みんなが快適な生活を送ることを望むのであれば、どうしてもみんなで集団的にやる必要がある。そのための地道な、うるさい啓蒙活動・広報活動がどうしても必要になる。ロータリーの「水と衛生」の（水は小川さんに任せるとして）「衛生」は、たぶん啓蒙活動、キャンペーン活動が鍵になるのだらうと思います。食中毒を防ごうとか、薬物には手を出さなとか、やたらゴミを捨てないようにしようとか、海岸や川の清掃活動を催すとか…。たった一日その辺を掃除したところで、どうにもならないと言えればそれまでですが、そういう活動をすることによって意識を広める、高めるということに意義があるわけです。

エンド・ポリオも、募金の多寡も大事ですが、むしろどれだけ人々にキャンペーンできたかということが大事なのですね。その意味で、先日の活動に協力して下さった橋本クラブ、大野クラブの方々のご活躍は、本当に有り難いことでした。ただ、ノボリを忘れてしまっ…。もっとも、その分？池田さんが募金箱を下げて会場を何度も何度もグルグル回ってくれたのは、素晴らしいことでした。

今日は、この後、その池田さんのイニシエーションスピーチと、小川さんの「クラブの歴史を振り返る Part3」です。乞う、ご期待。

幹事報告 井上 旭幹事

週報受領

相模原南 RC

ロータリー関係受領書類

ガバナー事務所

社会・国際奉仕セミナー アンケート回答

12月のロータリーレート 1ドル=112円

ガバナー月信 No.5

グループ幹事

11月会長幹事会開催案内

相模原 RC 相模原大野 RC 相模原橋本 RC 相模原南 RC

例会変更通知

その他の受領書類

つくい湖湖上祭実行委員会

協賛の御礼状

新入会員卓話

池田豊文会員

皆さん、こんにちは。前沢会長から「ロータリークラブに入会して」というお題で卓話をするよう仰せつかりました。何を話したらいいか少し悩みましたが、先日のクラブの活動、津久井湖観光センター祭りに参加して気が付いたのです。

それまでは毎週の例会で皆さんとお会いし、少しでも早くクラブに馴染めるよう心掛けておりましたが、私の中であやふやとなっていたものになかなか辿り着けなかったのです。

数年前からですが仕事も落ち着き、地域に何か協力できることはないだろうかと考えるようになりました。ただ、その中には私なりのルールがあり、“自分自身驕らないこと”という大前提がありました。色々考えても答えは出なかったのですが、このクラブに入会して、うっすらと見えてきたのです。

津久井湖観光センター祭りでは同級生と会いました。一人はご存じの方もおられると思いますが寿司屋の店主、以下A君とします。もう一人は30年振りに会った花屋さんの店員、以下B君でした。

朝、バザーと組み紐の機械の準備を終えて祭りの会場を眺めていると、A君が声を掛けてきました。久しぶりの会話の後、ポリオの募金をお願いし、彼も募金に協力してくれました。私がクラブのエリアに戻ろうとすると、彼が「そう言えばB君もいたよ」と言っていたので、B君に声を掛けに行きました。

B君は汚れた黒い作業服を着て、うつむき加減でした。とても花屋の店員とは思えないような風貌だったのです。私は彼の事を少し思い出しました。まず兄弟が多かったこと、家庭も裕福とは言えない家庭でした。

私は彼にポリオの募金をお願いし、「100円で子供達が救えるよ」と説明をしました。彼はポケットをまさぐり、「今、細かいのが無いんだ」と言って、隣りに座っていた花屋の店主を見つめました。すると花屋の店主は「私も持ち合わせが無いんだ」と言ったので、私は「細かいのが無ければいいんだよ」と言ってその場を去りました。

ここで誤解があってははいけませんね。私は彼を侮辱しているわけではありません。私とて今は普通の生活をさせて頂いておりますが、過去には後継ぎであった兄が亡くなり、どんどん衰退していた父の会社を継いだのですから。

会社延命のために資金を調達し、金融機関への返済が滞ったこともありました。資材の調達に苦慮した時期もありましたし、昼食を買おうとしたコンビニのレジの前で、1つのパンを買うお金がポケットに入っていなかった経験があります。この

時私が感じたのは罪悪感でした。なので彼を侮辱するつもりも、哀れむような気持ちもありません。彼も私も誰でも皆同じだと思っています。

本題に戻ります。しばらくすると、彼は私の所にやって来て、「池田、100円」とポリオの募金を渡してくれました。私は井上さんが用意してくれた髪留めのゴムとポリオのリーフレットを渡し、お礼を言いました。

少し時間が過ぎ、もう一度彼がやって来て、「池田、100円」とまた渡してくれました。先に持ってきた100円が彼の物なのか、後から持ってきた100円が店主の物なのかは分かりません。私が募金をお願いしたことで何かを考え、何かを感じて募金に協力してくれたのです。

私は、この出来事を家に帰ってから暫く考えていました。すると一つのことを思い出されたのです。私をこのクラブに導いてくれた小川さんは、クラブに入会する前、事あるごとにロータリーについて教えてくれました。ある時、いつものように酒を酌み交わしながら仰っていました。

「自分がロータリークラブに入っていることが奉仕である」と。その言葉を思い出したのです。そして、その言葉がこの日、自分の出来事となったことを私は理解しました。

人は誰でも誰かに影響され、そして誰かに影響を与えられているということ、どんな世界でも人の輪があって成り立っているということ、そしてその輪が重なり合わなければ、何の力にもならないということ。このロータリークラブというものがクラブで奉仕をするという人の集まりではなく、自然に奉仕の気持ちがあり、それをできる人が集まっているのがロータリークラブなのだと気付かされたのです。

私の心の中にあった“地域に何か協力できることはないだろうか”という何の目的意識もない漠然とした考えに結論が出なかった理由に気が付きました。輪を作り、輪に入り、そして輪を重ね合わせる結果的に何かの役に立つということがわかったのです。そしてさらに、その輪が何色であるかが重要なことであると感じました。

私はこのクラブに入会して、先輩方の影響を受けて活動に参加し、B君に声を掛ける機会を与えられたから、彼に募金を呼びかけられたのです。彼はそれに応えてくれました。それによって私は気が付かなかったものに気付きました。彼も同じだったかも知れません。私が大切だと思うのは、何を感じられるかということです。

最後に、「ロータリークラブに入会して」というお題についてですが、私は皆さんと出会い、この輪の中に入れてもらって感じ得ました。

“優しいロータリアンになりたい”

それが、ここ最近起きた私のインスピレーションです。



津久井中央 RC の歴史 小川洋一研修リーダー

今日は9代以降について話します。

9代 2001－2002年度（内田昭和会長）

- ・ニューヨーク国際貿易センター被害支援(10万円)
- ・ガールスカウト寄付贈呈(10万円)
- ・城山高校にて薬物乱用防止キャンペーン
- ・中国の日本語労習支援、ネパールベッド支援
- ・津久井湖さくらまつり参加

スマイル報告 田畑和久委員長

『スマイル報告 田畑和久委員長』



津久井中央 RC

前沢弘之会員

次年度、次々年度に向けた準備が始まりますね。ワクワクします。池田さん、すばらしいスピーチでした。ありがとうございました。

井上 旭会員

いよいよ11月も終了です。ロータリーも次年度に向かって何かと多忙です。わからない事ばかりで皆さんの力と協力を得て、良いスタートを切れるようお願いします。

八木 勉会員

池田さん、すばらしいお話をありがとうございました。

吉野賢治会員

先日18日の観光センターまつり、イルミネーションの点灯式、湖上際の花火、遅くまでお疲れ様でした。おかげ様でにぎやかにイベント開催出来ました。ありがとうございました。

沼崎善充会員

観光センター祭りは皆様ありがとうございました。おかげ様でバザー&ポリオも多くの金額が集りました。今年も残り1ヵ月ですね。身体に気をつけて楽しい正月を迎えましょう!!

佐藤祐一郎会員

湖上際、バド君の歓迎会と出席できず、申し訳ありません。来週は金沢元AGの卓話、伊勢原平成の中村さんが今年も花を持ってお見えになるそうです。皆さん、ご出席をお願いいたします。

杉本信一会員

25周年サーカスに参加、孫3人、大人3人、一族で参加いたします。よろしくお願いたします。

小川洋一会員

いよいよ忘年会のシーズンです。11月にすでに2件こなしました。明日は3件目です。いつも一人二次会を行います、少し控えめにしようと思っております。

水野 茂会員

今日池田さんの話を聞いたのでスマイルします。

池田豊文会員

今晚から忘年会が始まります。皆さんもお体にはお気を付けて！

杉本信一会員

11/18、お疲れ様でした！寒くなってきました… 先日の田園でのバドさん歓迎会はお疲れ様でした。飲み過ぎました… あ～ さて話は変わりますが、本日身につけておりますめがねは約30年前のもの。上着も30年前のものです。太ったので、又着られるようになりました～(^ ^)

田畑和久会員

先日の湖上際、ご苦労様でした。孫の成長を皆さんに見て頂きました。私は久しぶりに冬の背広を出して着てみたら、私も成長しているのを確認することができました。会員一同になりかわり、池田さん、すばらしい卓話をありがとうございました。

10代 2002－2003年度（佐々木道他会長）

- ・モーラン RC15 周年記念式典、姉妹クラブ提携調印式参加(10名)
- ・ガールスカウト 52 団へ寄付(10万円)
- ・津久井 RC との合同社会奉仕・4 町地域作業所との交流会(100名参加、湖月荘)

11代 2003－2004年度（吉野賢治会長）

- ・モーラン RC 子女交換事業(1回目受入れ) 大人2名・子女6名来日(相模湖花火大会、河口湖バーベキュー)
- ・10周年記念モニュメント除幕式(相模湖交流センター) 星野会員製作 120万円
- ・創立10周年記念式典(モーラン RC より8名) 寄付 財団10万円、米山10万円、4町10万円×4=40万円、ガールスカウト10万円
- ・津久井 RC との合同社会奉仕・4町地域作業所と交流会 湖月荘
- ・モーラン RC との交流(モーラン RC8名、津久井中央 RC19名)